第３章　朝倉市における健康水準の現状

第３章　朝倉市における健康水準の現状

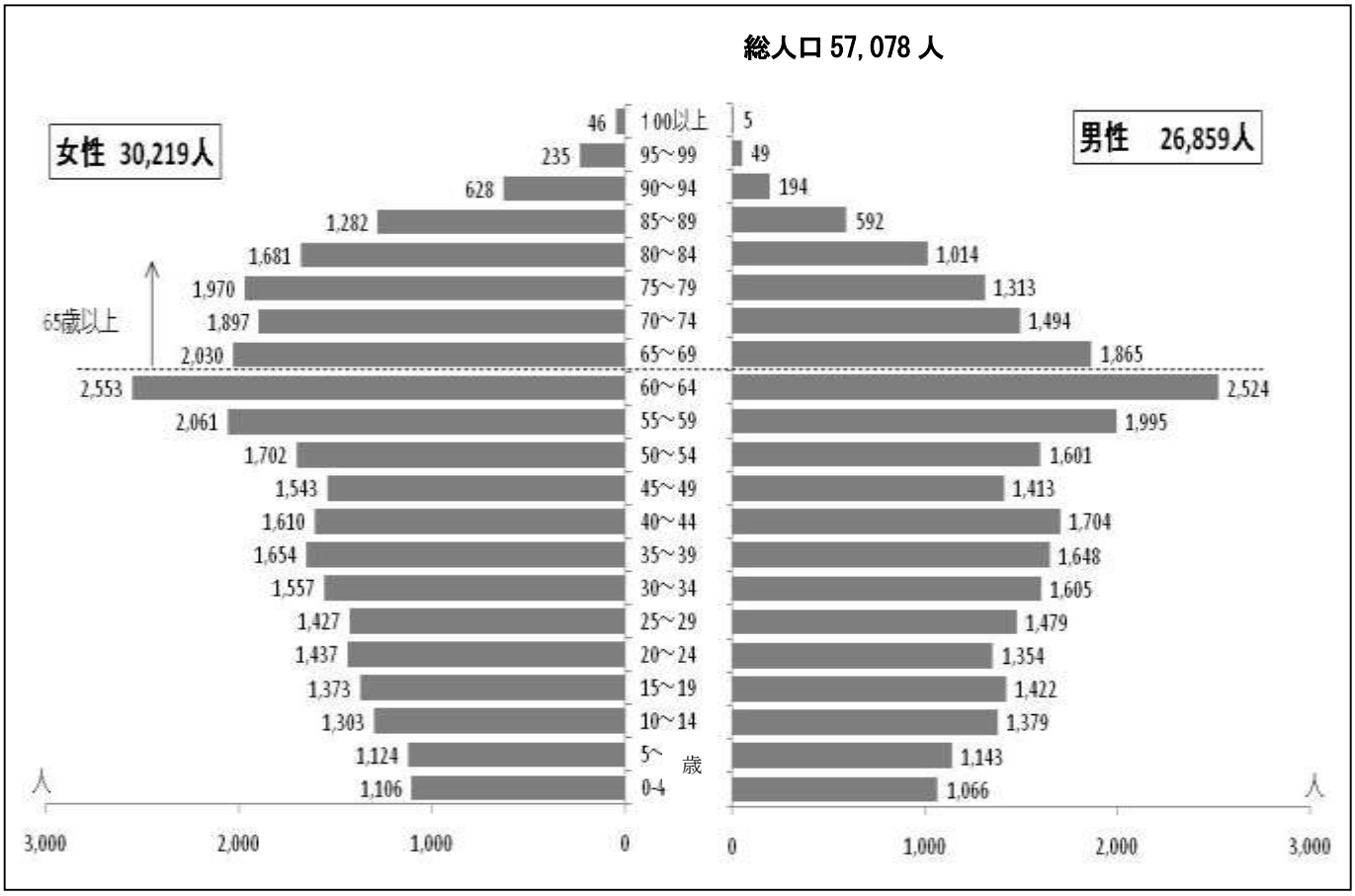
１　統計資料からみえる現状

【人口と年齢構成】

平成 25 年の総人口は、57,078 人（女性：30,219 人、男性：26,859 人）となっています。65 歳以上の高齢者人口は、男性（6,526 人）よりも女性（9,769 人）が特に多くなっています。

また、団塊の世代（昭和 22 年～昭和 24 年生まれ）を含む 60～64 歳にかけて人口が最も多く、この年代が順次 65 歳以上の高齢者となることから、高齢者人口の割合は、今後も増加が続くと予測されます。

人口分布

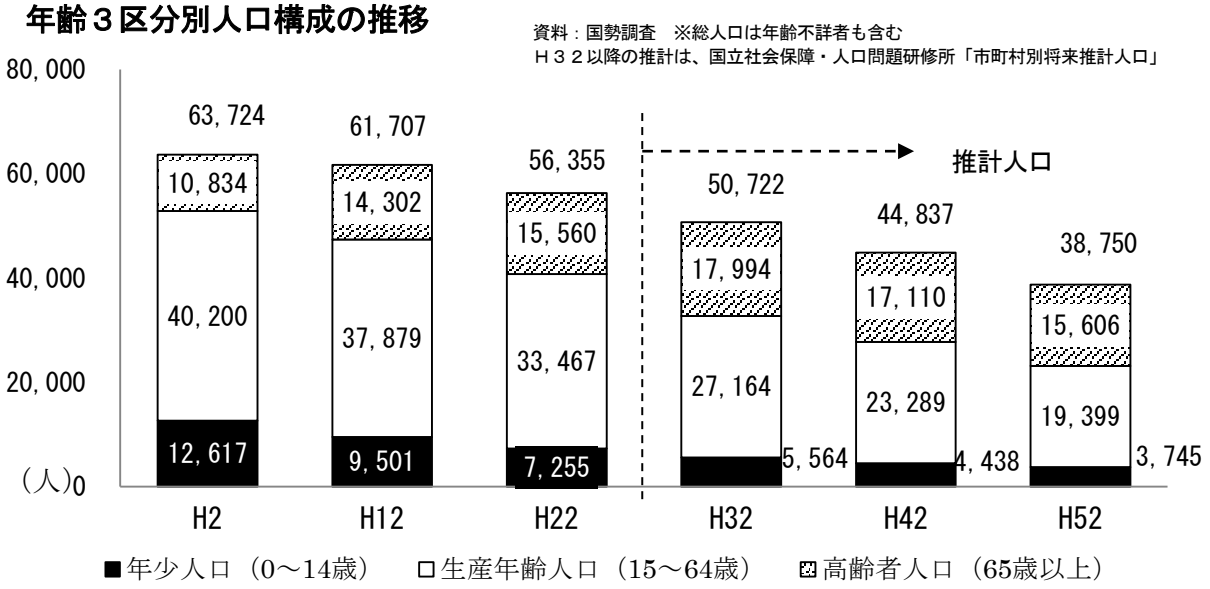


資料：平成 25 年 3 月末　住民基本台帳

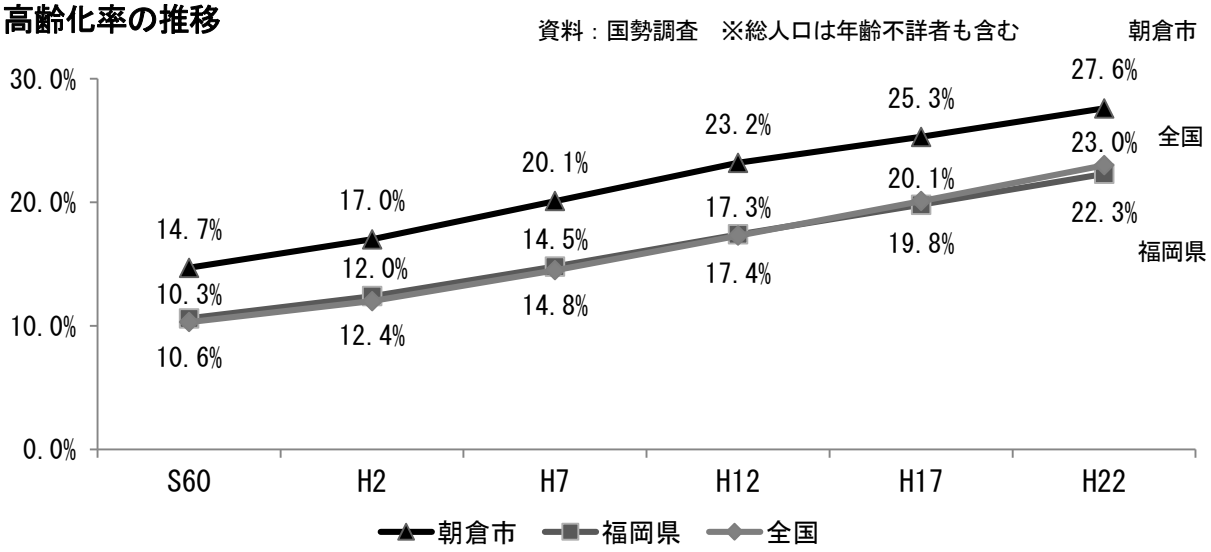
全国的に少子高齢化が進み、本市でも総人口が減少しているなかで、65 歳以上の高齢者人口は年々増加しており、15 歳未満の年少人口の減少が顕著となっています。また、26 年後の平成 52 年の推計人口をみると、人口が大きく減少することが予測されます。

昭和 60 年から平成 22 年の人口推移では、当市の高齢化率は 14.7%から 27.6%となり、約４人に１人は 65 歳以上の高齢者となっています。国及び県と比較すると本市の高齢化率が高いことがわかります。

年齢３区分別人口構成の推移



高齢化率の推移



【世帯構成】

総人口が減少しているのに対して、世帯数は増加していますが、一世帯あたりの人員数が平成２年の 3.8 人から 20 年間で 2.9 人となっており、世帯規模は縮小しています。

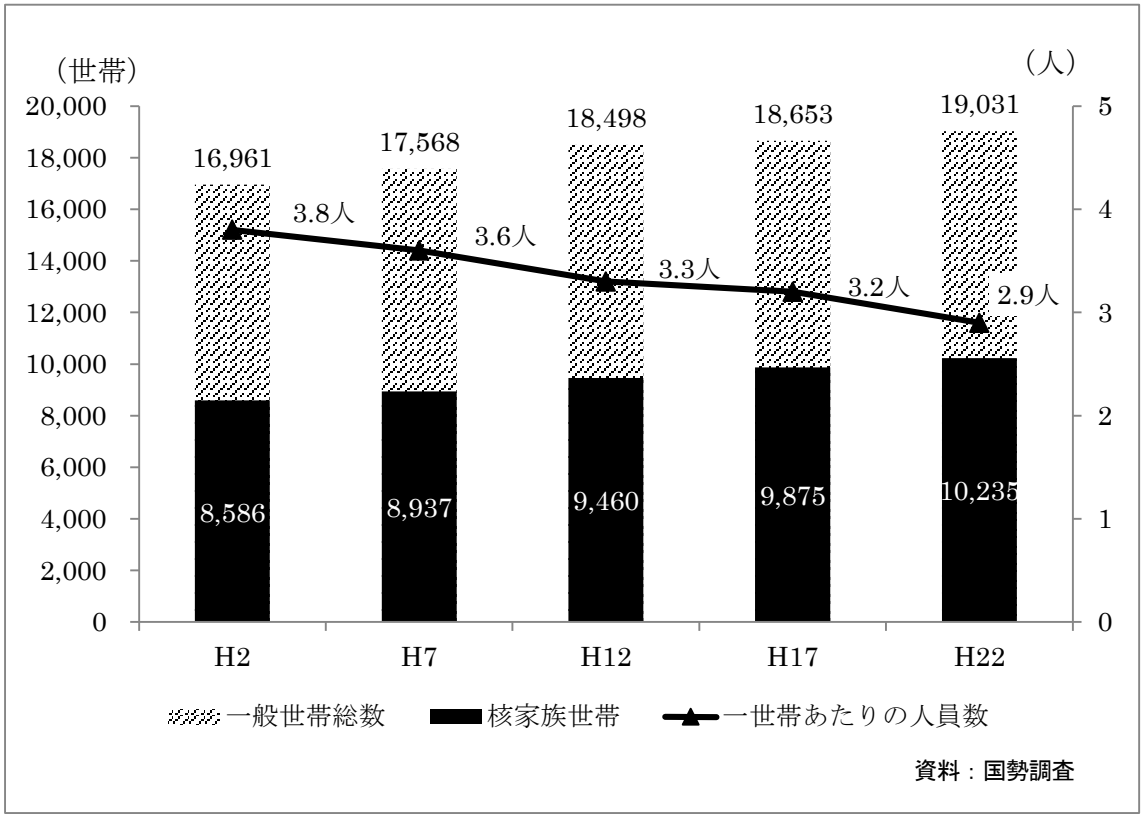
また、世帯の家族類型でみると、核家族世帯と単独世帯（一人暮らし世帯）が増加しています。さらに核家族世帯の内訳を詳しくみると「夫婦とこども」は減少し、「夫婦のみ」と「ひとり親とこども」は増加しています。

世帯構成の推移

単位：世帯

			H2	H7	H12	H17	H22
総人口（人）			63,724	62,593	61,707	59,385	56,355
一般世帯総数			16,961	17,568	18,498	18,653	19,031
親族世帯			14,882	14,964	15,120	14,945	14,692
	核家族世帯		8,586	8,937	9,460	9,875	10,235
		夫婦のみ	2,439	2,743	3,077	3,249	3,540
		夫婦とこども	4,971	4,825	4,867	4,890	4,728
		ひとり親とこども	1,176	1,369	1,516	1,736	1,967
	その他の親族世帯		6,296	6,027	5,660	5,070	4,457
単独世帯			2,063	2,583	3,355	3,607	4,224
	65歳以上の単独世帯		779	1,028	1,362	1,653	1,878
その他			16	21	23	101	115

※平成 17 年の数値は、新分類区分による遡及集計結果による。　資料：国勢調査



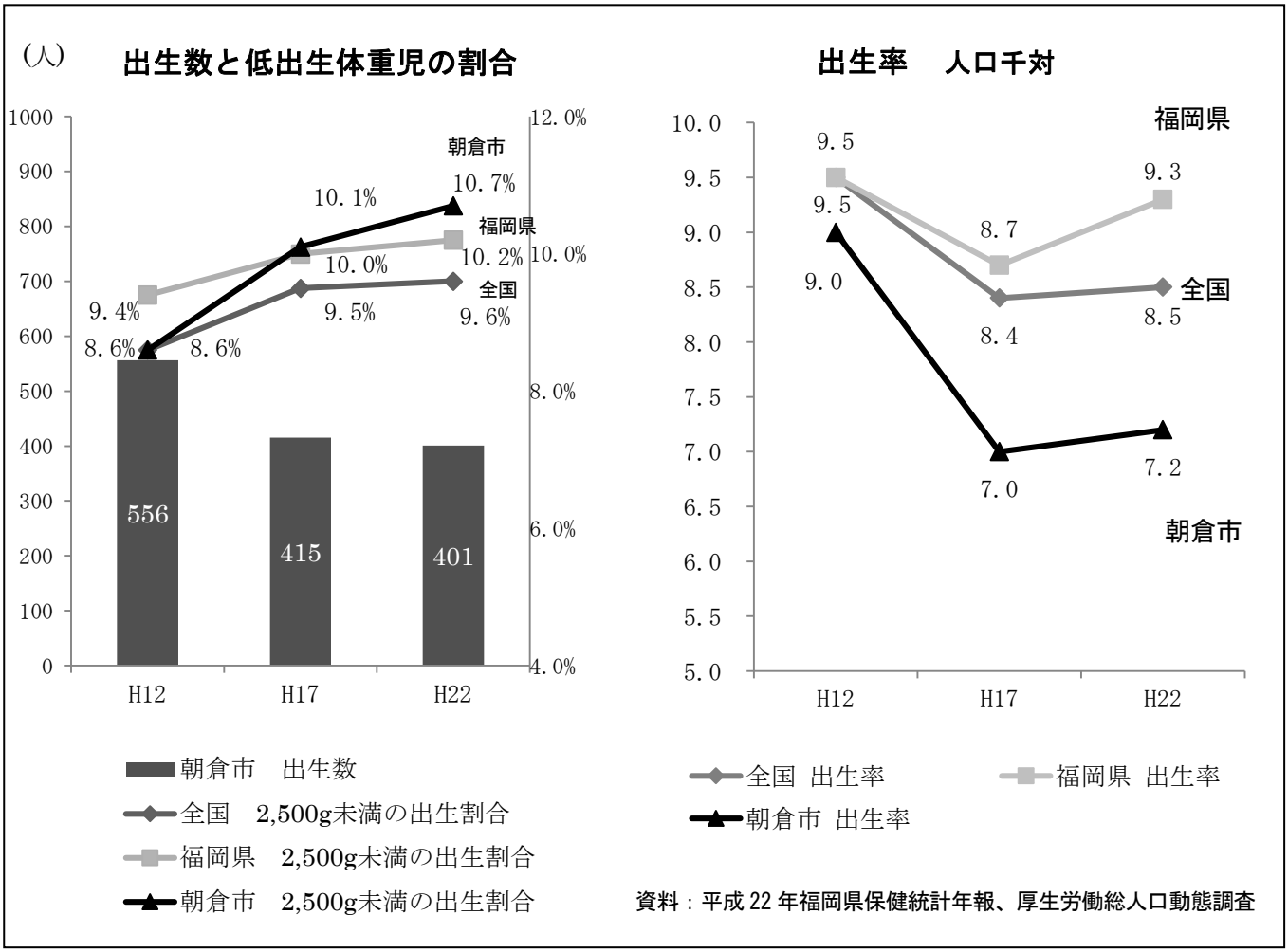
【出生と死亡】

出生数は国と同様に減少傾向にありますが、平成 17 年以降 400 人前後で推移しています。これに対し、2,500g 未満の低出生体重児の出生割合が増えており、国及び県を上回る割合で推移しています。

出生数と低出生体重児の割合

		H12	H17	H22
全国	出生率（人口千対）	9.5	8.4	8.5
	2,500g未満の出生割合	8.6%	9.5%	9.6%
福岡県	出生数	47,290人	43,421人	46,818人
	出生率（人口千対）	9.5	8.7	9.3
	2,500g未満の出生数	4,453人	4,354人	4,776人
	2,500g未満の出生割合	9.4%	10.0%	10.2%
朝倉市	出生数	556人	415人	401人
	出生率（人口千対）	9.0	7.0	7.2
	2,500g未満の出生数	48人	42人	43人
	2,500g未満の出生割合	8.6%	10.1%	10.7%

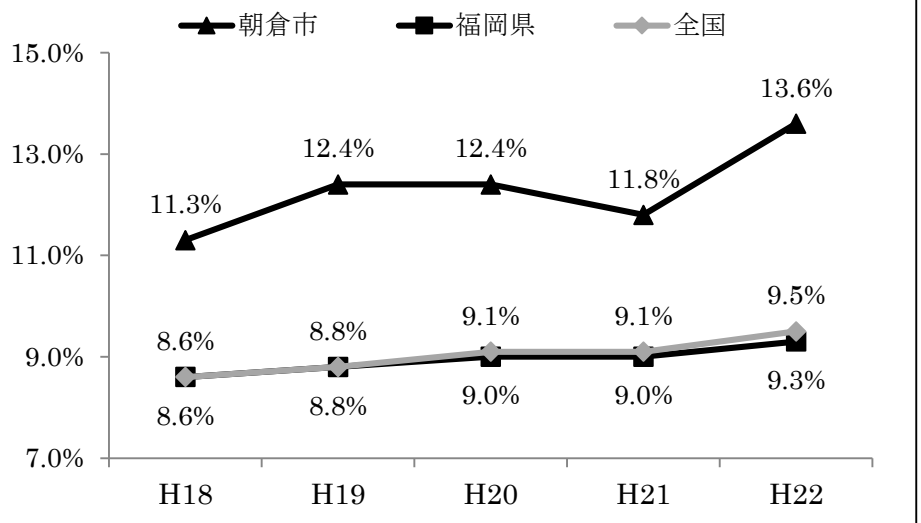
資料：平成 22 年福岡県保健統計年報、厚生労働総人口動態調査



平成 22 年の本市の死亡率は、13.6%と高齢者の増加に伴い年々増加しており、国及び県を上回る割合で推移しています。

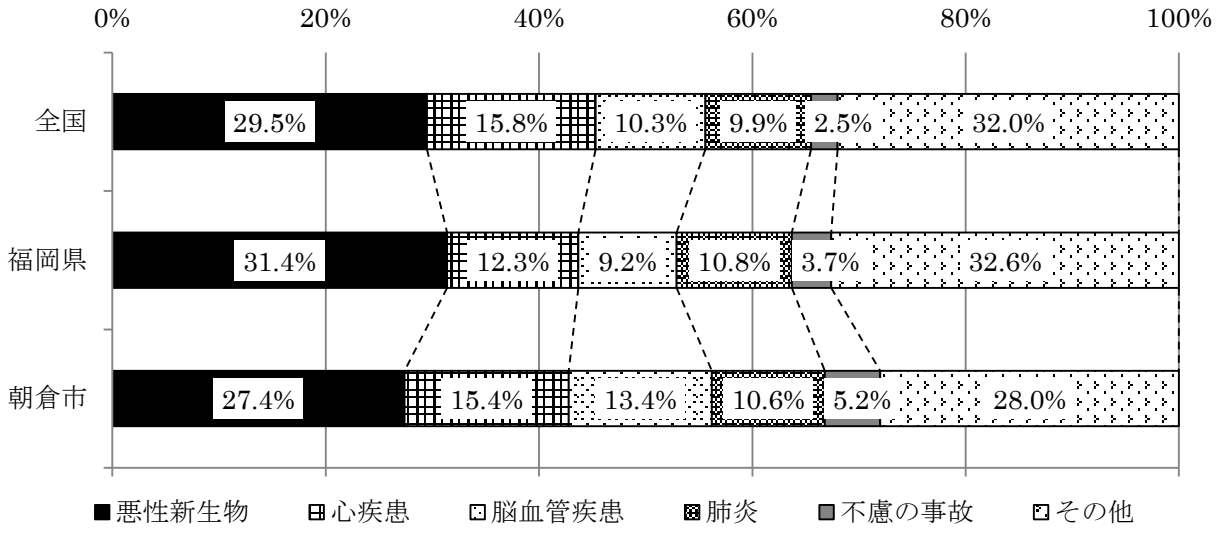
本市の死因別死亡割合をみると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が全体の約６割を占めています。また死因別構成比の状況をみると、国及び県に比べて脳血管疾患の割合が多いことがわかります。

死亡率の推移（全国・福岡県との比較）



資料：平成22年福岡県保健統計年報

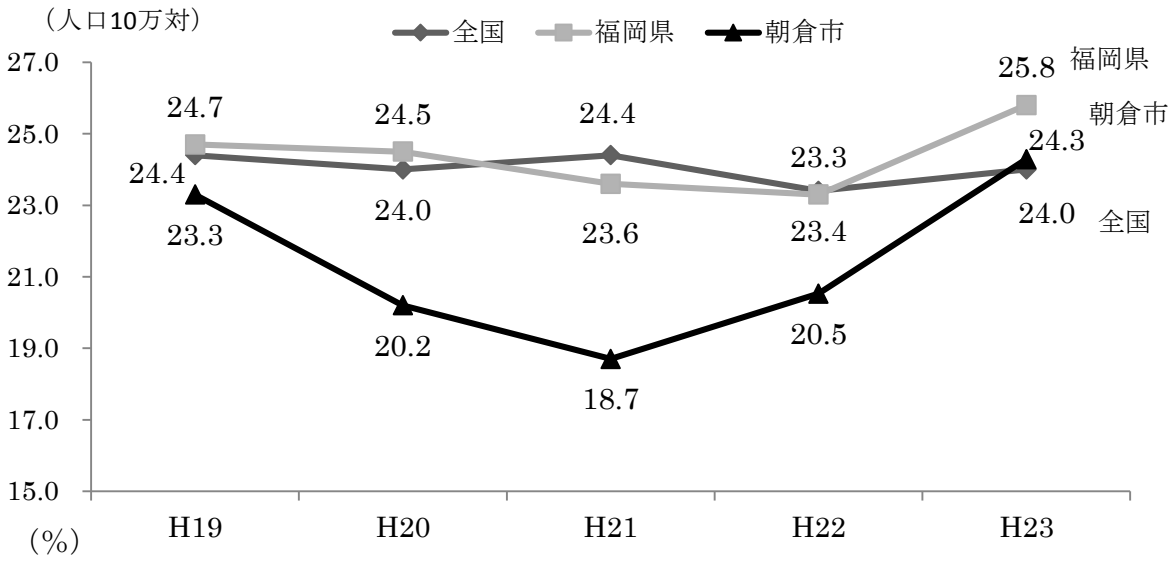
死因別構成比の状況（全国・福岡県との比較）



資料：平成22年人口動態統計

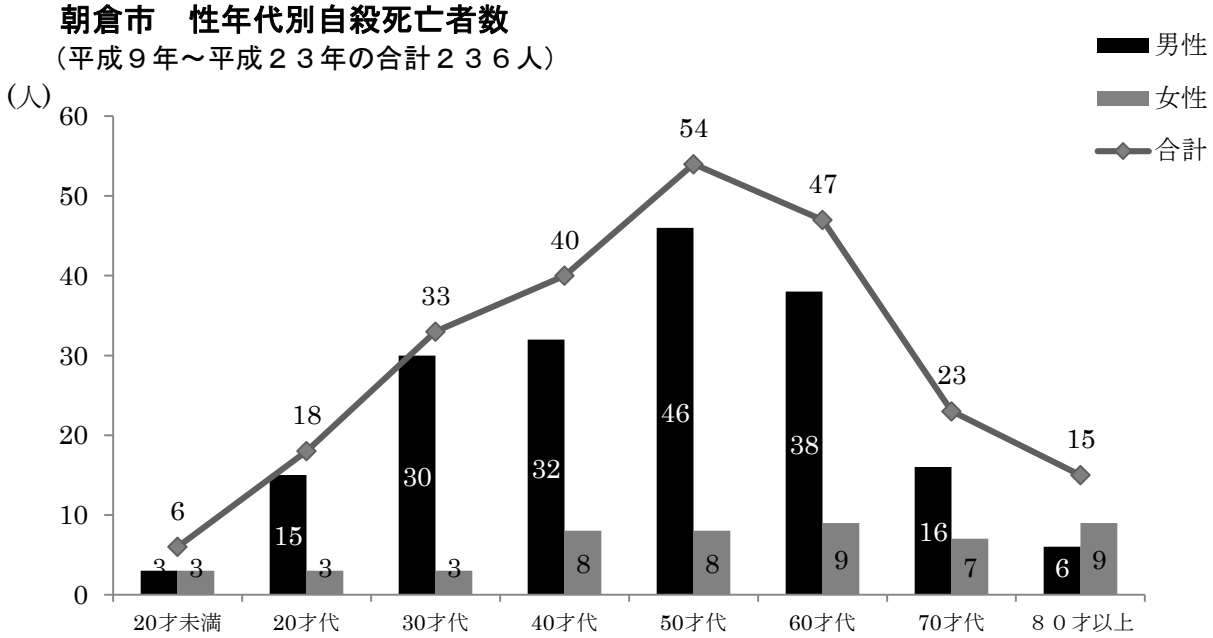
平成 10 年から全国の自殺者数は年間３万人を超えており、本市では年間約十数名の方が自殺で亡くなっています。自殺死亡率は平成 21 年に最も低くなりましたが、その後増加に転じています。平成 23 年をみると、国とほぼ同じ程度であり、県と比較すると若干低くなっています。また、性年代別にみると中年期から高年期にかけて、特に男性の自殺率が高く、全国的な傾向と同様となっています。

自殺死亡率の推移



資料：福岡県保健統計年報（全国・福岡県）より朝倉市は独自計算
平成23年は内閣府「地域における自殺の基礎資料」（警察庁提供データ）

朝倉市　性年代別自殺死亡者数
（平成９年～平成２３年の合計２３６人）



資料：平成22年までは福岡県保健統計年報、
平成23年は内閣府「地域における自殺の基礎資料」（警察庁提供データ）

死因別年齢調整死亡率をみると、平成 21 年の悪性新生物（がん）75 歳未満年齢調整死亡率は、10 万人あたり男性 127.6（国 109.8）となっており、平成 17 年と比較すると、国及び県は減っているのに対して、本市は増えています。また脳梗塞年齢調整死亡率においても、10 万人当たり女性 18.4（国 13.3）となっており同様の状況になっています。

さらに、平成 21 年の糖尿病年齢調整死亡率は、10 万人あたり男性 12.9（国 6.7）、女性 3.8（国 3.3）と国よりも高く、平成 17 年と比較しても高くなっており、中でも女性は約 4.7 倍に上昇しています。また、腎不全の年齢調整死亡率も、平成 17 年と比較して高くなっています。

死因別年齢調整死亡率　　（人口 10 万人対）

年齢調整死亡率		全国		福岡県		朝倉市	
		H17年	H21年	H17年	H21年	H17年	H21年
悪性新生物（75歳未満）	男性	122.1	109.8	138.2	118.6	123.8	127.6
	女性	65.6	61.3	69.7	63.5	72.8	44.8
急性心筋梗塞	男性	25.9	21.2	23.3	17.8	30.6	24
	女性	11.5	8.8	9.8	7.5	9.8	6.2
脳梗塞	男性	34.5	25.9	30.7	23.4	39.3	27.4
	女性	18.6	13.3	15.4	11.5	13.5	18.4
糖尿病	男性	7.3	6.7	7.6	8.1	10.7	12.9
	女性	3.9	3.3	3.6	3	0.8	3.8
腎不全	男性	8.8	8.3	7.6	8.7	5.5	8.6
	女性	5.3	4.7	5.6	4.5	3.9	5.3

資料：第 2 期朝倉市特定健康診査等実施計画・国保連合会算出資料

【がん検診】

本市のがん検診の受診率は、検診方法を予約制に変更した平成 22 年度は下がりましたが、その後は微増となっています。

がん検診実施状況

検診名	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
胃がん検診	9.5%	9.3%	8.4%	8.7%	8.7%
肺がん検診	4.2%	4.3%	4.3%	4.7%	4.7%
大腸がん検診	9.8%	9.5%	8.6%	10.0%	10.4%
子宮頸がん検診	9.7%	11.0%	9.4%	9.9%	10.0%
乳がん検診	12.1%	12.9%	9.7%	10.7%	10.5%
前立腺がん検診	7.7%	8.1%	6.7%	7.5%	8.4%

資料：朝倉市事業実績

【特定健康診査】

平成 20 年度から始まった特定健康診査の平成２４年度の 40～74 歳の朝倉市国民健康保険加入者の健診受診者は、3,700 人（受診率 34.9%）でした。健診受診率は平成 20 年より徐々に減少しています。

また、第２期特定健康診査等実施計画によると、受診率は 40 歳～50 歳代の健診受診率が低い状況であり、男女別にみると男性の受診率が低くなっています。

朝倉市特定健診実施状況と特定保健指導実施状況

				平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
被保険者数（40歳～74歳）				11,175人	10,964人	10,738人	10,681人	10,605人
健診受診者数				4,616人	3,983人	3,896人	3,788人	3,700人
目標	健診受診率			40.0%	45.0%	55.0%	60.0%	65.0%
	保健指導実施率			25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%
実績	健診受診率			41.3%	36.3%	36.3%	35.5%	34.9%
		再掲	生活習慣病治療中 人数	1,744人	1,522人	1,583人	1,542人	1,583人
			生活習慣病治療中 割合	37.8%	38.2%	40.6%	40.7%	42.8%
	保健指導実施率			56.0%	71.3%	39.4%	62.0%	66.6%

資料：第 2 期朝倉市特定健康診査等実施計画・朝倉市事業実績

平成 24 年度特定健康診査結果をみると、メタボリックシンドロームの該当者と予備群を合わせると約 24%となっており、その割合は、県と比較すると低くなっています。

メタボリックシンドローム（該当者及び予備群）の人数・率

	メタボリックシンドロームの状況	H20	H21	H22	H23	H24
福岡県	該当者	29,506人 15.1%	31,402人 15.2%	32,470人 15.2%	35,015人 15.5%	38,798人 15.7%
	予備群	24,437人 12.5%	24,663人 11.9%	25,138人 11.8%	26,264人 11.6%	27,867人 11.3%
朝倉市	該当者	649人 14.1%	462人 11.6%	479人 12.3%	486人 12.8%	507人 13.7%
	予備群	592人 12.8%	412人 10.3%	389人 10.0%	385人 10.2%	378人 10.2%

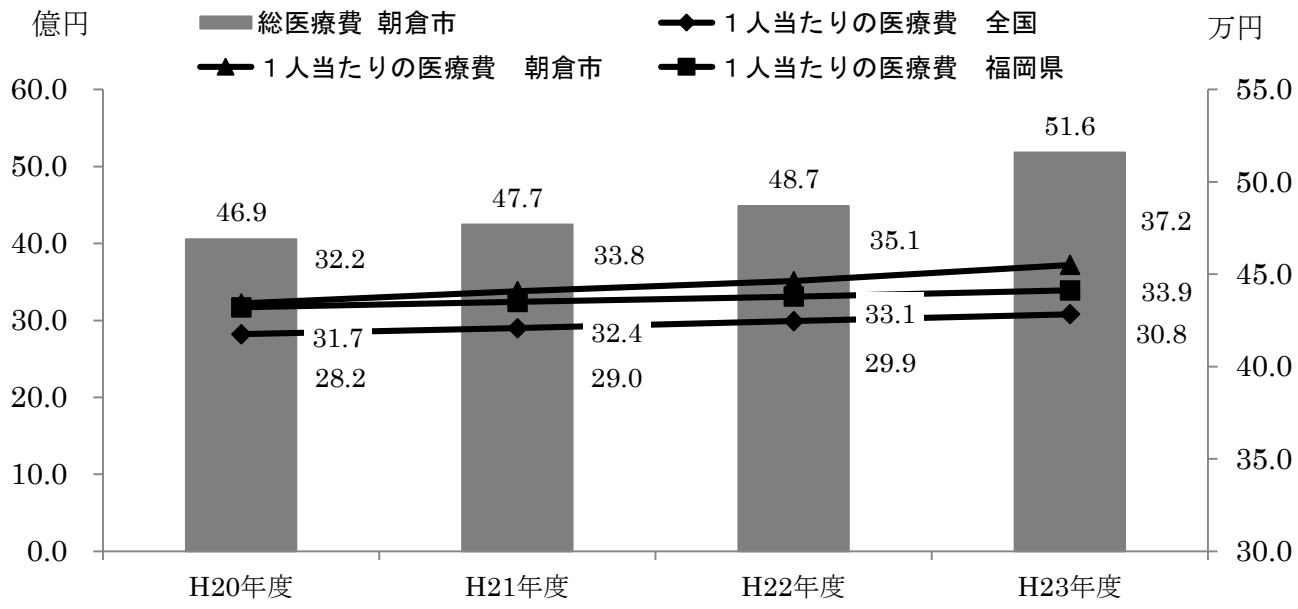
資料：第 2 期朝倉市特定健康診査等実施計画・朝倉市事業実績

【医療費の状況】

本市の国民健康保険医療費は、増加の一途をたどっており、平成 23 年度でみると一人あたりの医療費は県と比べて約３万３千円、全国と比べると約６万４千円高くなっています。

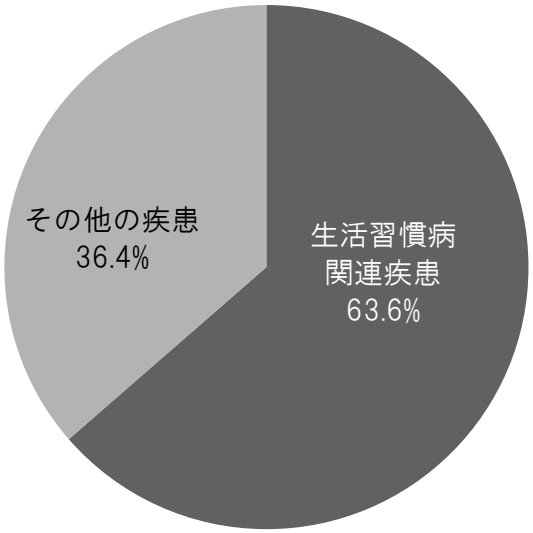
また国民健康保険医療費に占める生活習慣病関連疾患の割合は 63.6%を占めており、これらの疾患が医療費の増大を招いている要因と考えられます。

国民健康保険医療費の推移



資料：第 2 期朝倉市特定健康診査等実施計画・平成 25 年 3 月福岡県国保医療費及び後期高齢者医療費の現状

国民健康保険医療費に占める生活習慣病関連疾患の割合（平成 24 年 5 月診療分）



[生活習慣病関連疾患内訳]

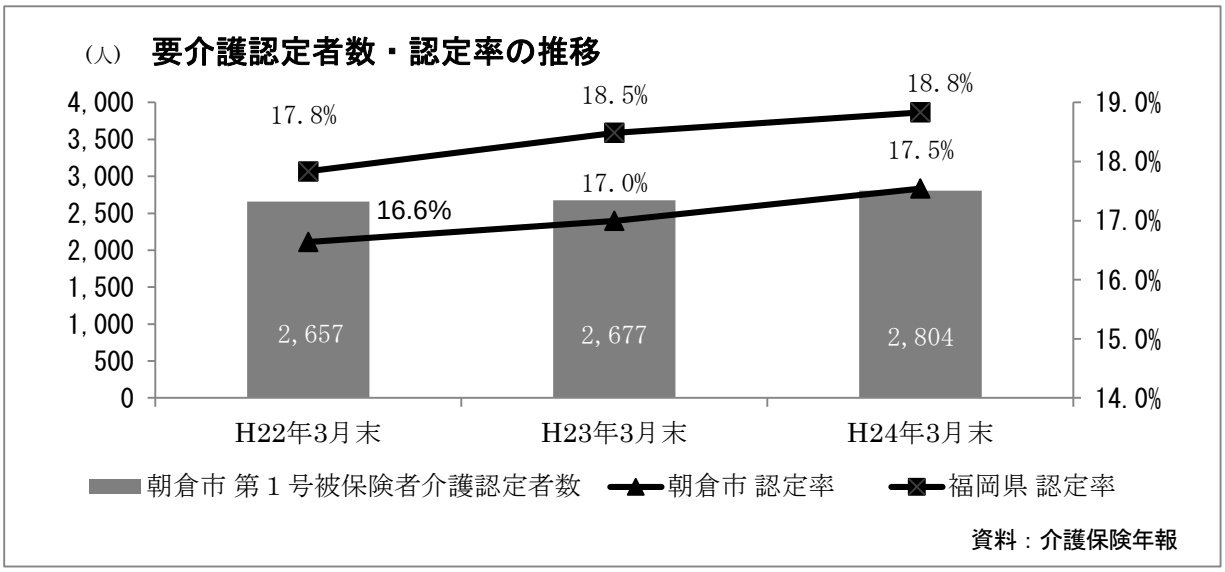
高血圧症・脂質代謝異常症
糖尿病・高尿酸血症
大動脈疾患・虚血性心疾患
脳出血・脳梗塞・腎臓疾患
人工透析・肝機能障害
動脈硬化・動脈閉塞

資料：第 2 期朝倉市特定健康診査等実施計画

【介護保険の状況】

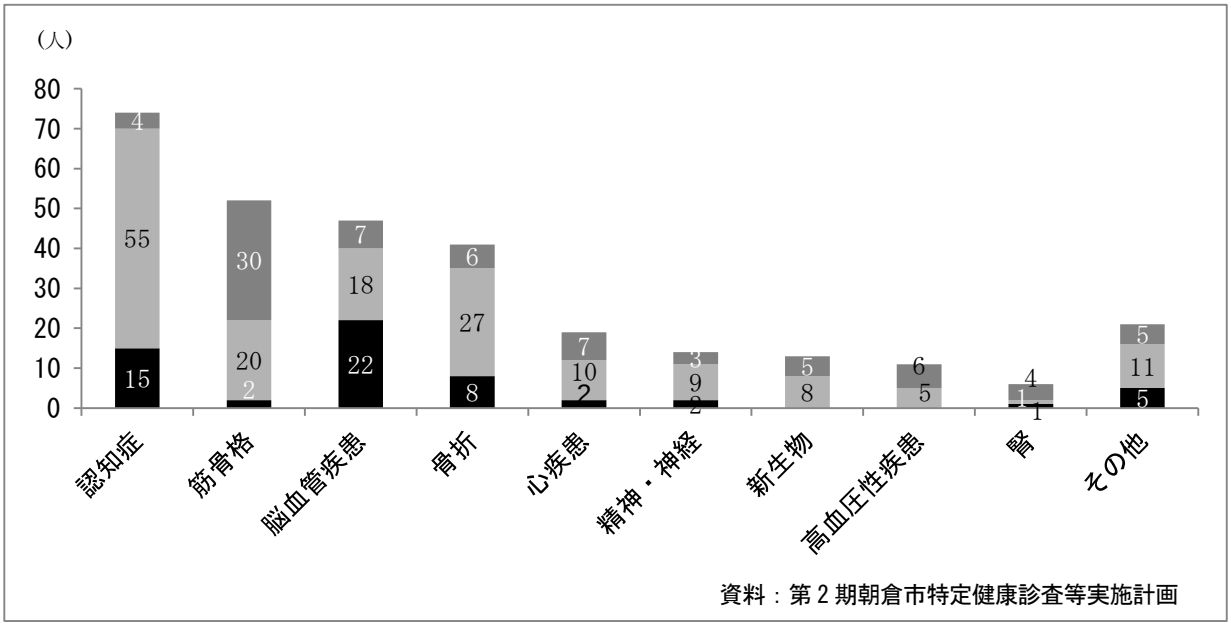
本市の介護保険認定者数及び認定率（高齢者人口に占める65歳以上の要介護認定者数の割合）は平成24年度には認定者数2,804人、認定率17.5%となっており県と比較すると低い状況にありますが、共に微増傾向になっています。

しかし制度開始当初の平成12年（認定者数1,700人、認定率11.8%）と比較すると大きく増加しています。



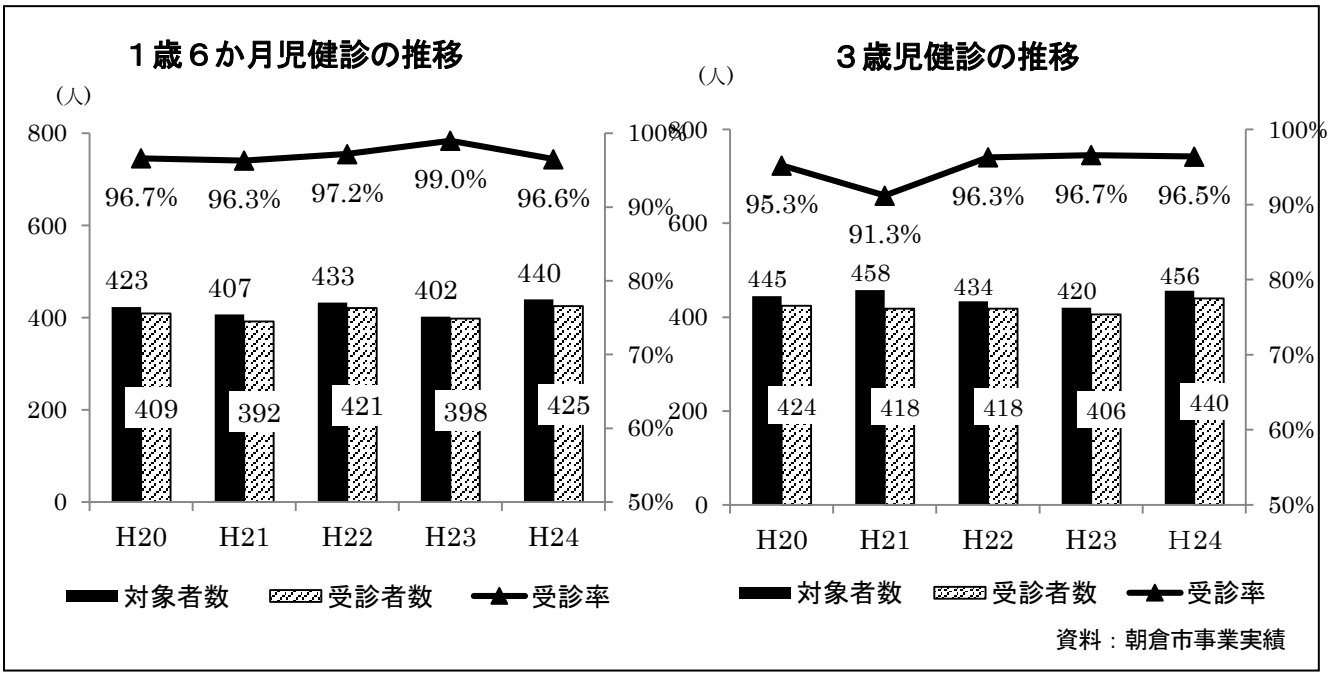
平成24年５月の要介護認定者の主原因と考えられる疾患は、298人の認定者のうち、認知症が74人（24.8%）と最も多くなっています。重度である要介護４・５の認定者をみると、脳血管疾患の22人が最も多くなっています。

要介護認定者の主原因と考えられる疾患（主治医意見書平成24年5月分）



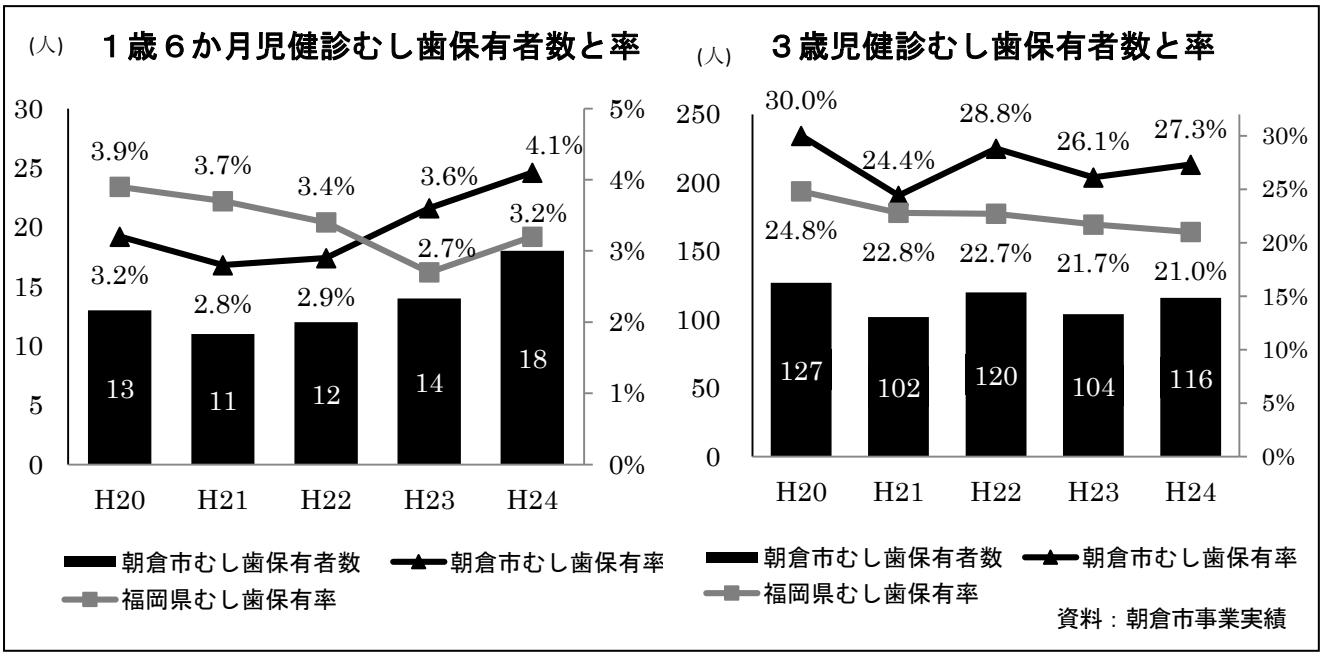
【幼児健診の状況】

幼児健診の受診状況では、１歳６か月児健診及び３歳児健診ともに受診率は９割以上で推移しており、高い受診率となっています。



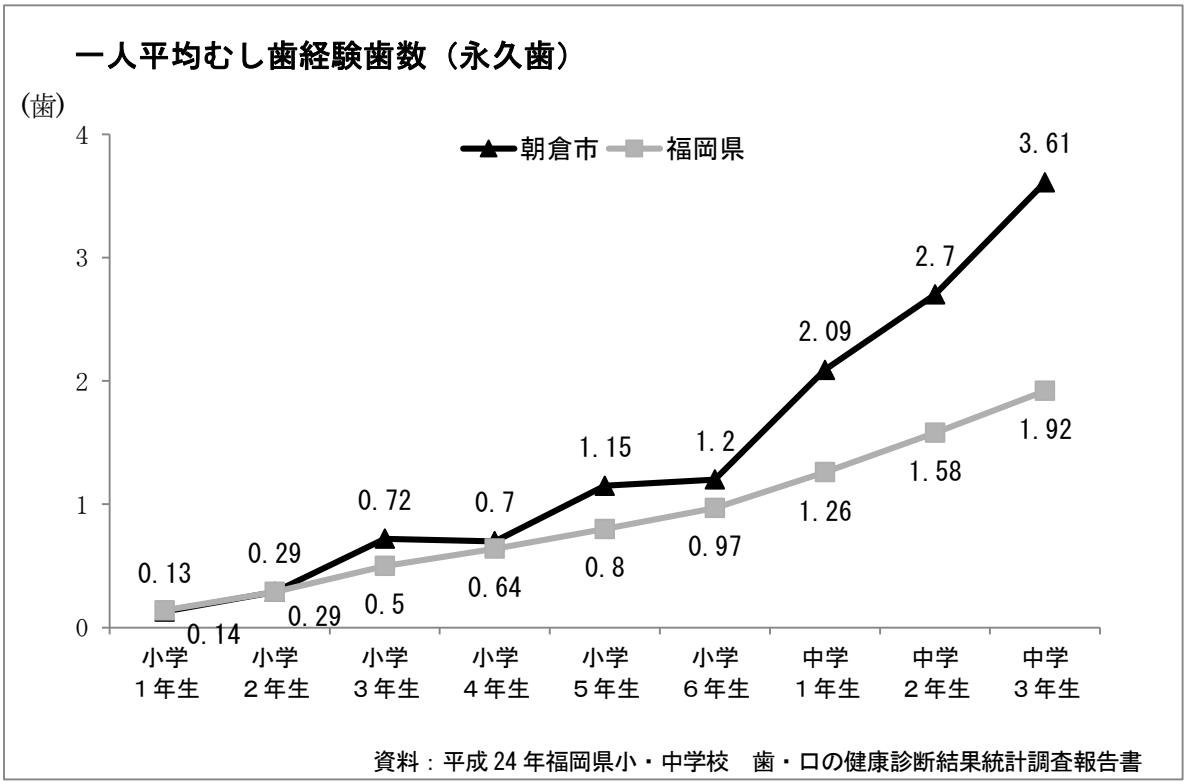
幼児歯科健診受診者に占めるむし歯保有者の割合（むし歯保有率）は、１歳６か月児健診では５%以下であるのに対して、３歳児健診になると30%近くになり、約６倍に増加しています。

むし歯保有率を経年でみると、福岡県のむし歯保有率は年々減少していますが、本市の１歳６か月児健診では年々増加しており、３歳児健診では横ばいで推移しています。



【学校歯科健診の状況】

一人平均むし歯経験歯数をみると、学年が上がる毎に増え、特に中学生になると急増します。中学３年生では 3.61 歯となり、県と比較すると２倍に近い状況にあります。



資料：平成 24 年福岡県小・中学校　歯・口の健康診断結果統計調査報告書